

単元名：Program7 Research on Australia
(中学校第1学年 英語科)



ICT活用のねらい

- ・ オンラインサイトを活用し正確な発音の練習をします。
- ・ 音声録音機能の活用により、自らの英語表現を振り返り、デジタルポートフォリオを作成します。
- ・ 発表ツールとして一人一台端末を活用します。

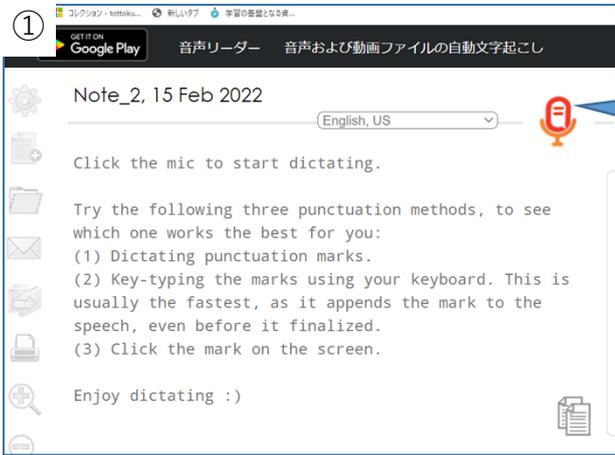
学習の流れ

本時の目標 単元ゴール活動「Welcome to Saga ~佐賀をPRしよう~」において、一人一台端末を用いて画像を見せながら、まとめ良く分かりやすく紹介することができるようになるために、生徒同士の相互評価の場を設けて改善点を見つけ、各自修正し改善することを目標とする。

導入	展開	まとめ
<p>○オンラインサイトを活用した発音練習に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント① 【音声認識機能】 (Speechnotes)</p> </div> <p>○本時のめあてを知り、見通しを持つ。 〈めあて〉 発表会「Welcome to Saga ~佐賀をPRしよう~」に向けて、改善点を見つけ、修正しよう。</p>	<p>○班内リハーサルをする。 ○Rotation Presentation形式でプレゼンし、聞き手からアドバイスをもらう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント② 【スライド機能】 (Power Point)</p> </div> <p>・アドバイスを基にプレゼンを修正し、練習後、提出する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用ポイント③ 【録音機能】 (Power Point)</p> </div>	<p><思・判・表> A:アドバイスを基に原稿及びスライド2か所以上修正し、音声化することができる。 B:アドバイスを基に原稿及びスライドを修正し、音声化することができる。 <主体的> A:アドバイスを基に原稿及びスライド2か所以上修正し音声化しようとする。 B:アドバイスを基に原稿及びスライドを修正し、音声化しようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の振り返りを行う。 ・ 次時の学習内容を知る。

詳細はICT活用教育「プロジェクトE」サイトをご覧ください
<https://www.pref.saga.lg.jp/kyouiku/list01913.html>





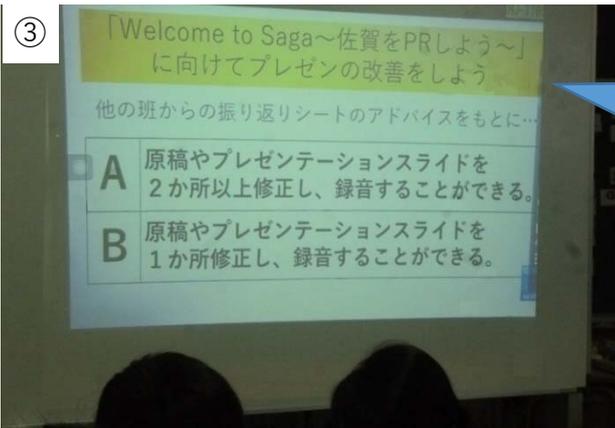
マイクを押すだけで、音声認識開始！

①オンラインサイトを活用した発音練習に取り組む。
【音声認識機能】(Speechnotes)



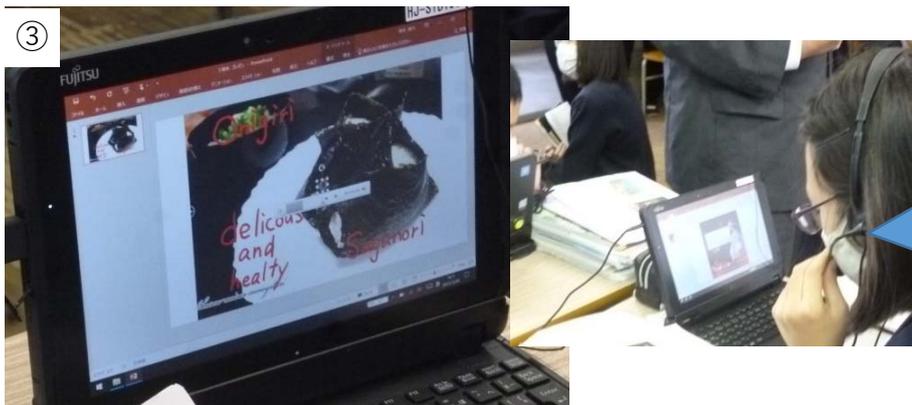
②Rotation Presentation形式でプレゼンテーションを行い、聞き手からアドバイスをもらう。
【スライド機能】(Power Point)

気づいたことは、すぐにアドバイス！



電子黒板には評価の観点を示しています！

③アドバイスを基にプレゼンを修正し、練習後、提出する。
【録音機能】(Power Point)



ヘッドセットの活用でスライドに音声も載せています！

吉野ヶ里町立東脊振中学校のエリアリーダー吉田喜美子教諭（スーパーティーチャー）の英語の実践です。授業の初めにオンラインサイトを活用した発音練習に取り組んでいるので、みんな英語を話すことに慣れていています。今回の授業は、「発表会『Welcome to Saga~佐賀をPRしよう~』に向けて、改善点を見つけ、修正しよう」というめあてに沿って、スライドを作ります。スライドには、文字や写真だけでなく、英語の音声も入れます。友達からのアドバイスを受けてさらに良いものにしようと、生徒たちが何度も修正しより良いものを作ろうとする姿が印象的でした。音声を付けることができること、何度も修正できることなど端末の長所をうまく活用し、生徒たちの学びを深めていく授業でした。